



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.29
2016

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【肝付町老人福祉センター内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>

夏の海でふれあい遊び



8月7日（日）海と空の青さが混じり合う好天のもと、内之浦の海岸にて未就学児兄弟や祖父母も含む小中高校生を持つ保護者を対象に、ヨットやボードなどの海あそびを通しての「親子コミュニケーションレクリエーション」を開催いたしました。（詳細は次ページに記載）

◆記事内容◆

夏の海でふれあい遊び	表紙・2
子育て支援・ネットワーク構築事業	2
平成28年度赤い羽根共同募金	3
赤十字肝付町分区からのお知らせ	3
H28年度サマーボランティア	4・5
児童・生徒のふれあいボランティア活動事業	6
ペットボトルキャップ・プルタブ収集ボランティアの報告	7
障がい者（児）訪問入浴サービス 他	8

望縁郷（ぼうえんきょう）の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり（縁）で、誰もが安心して暮らせる肝付町（郷）であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく（エンジョイ）、今日（キョウ）から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡（ぼうえんきょう）になれば願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

～子育て支援・ネットワーク構築事業～ “親子でヨットに挑戦～夏の海でふれあいあそび”



夏休み子育て支援イベントとして夏の海でふれあいあそびを開催しました。地域の宝、内之浦海岸で海洋スポーツクラブの協力のもと、マリンスポーツにチャレンジしながら、コミュニケーションの輪を広げ、共通の思い出を作ることが出来ました。

包括支援愛隊（おばあちゃん炊き出し隊ボランティアグループ）による炊き出しや昔ながらのおやつ作り体験も大好評で、「ご飯もととてもおいしかったです。家でも子どもたちと“いりこもち”作り

をしました」という声が寄せられました。

「ヨットの操作は、私には少し難しく思いましたが、4年生の息子はとても楽しかったようで、操作も上手にこなしていました。ちょっぴり成長を感じました（笑）」

「初めてのヨット・ボード体験で子どもたちがとても喜んでくれていた。海で他の親子さんとふれあいよい経験でした」

「子どもと一緒に楽しい時間を過ごせました」

「自然が一番の遊び相手だ。親も子も一緒に童心に戻りました」

などと、参加された親御さんより、ご感想をいただきました。



～子育て支援～ “パパと一緒に遊ぼう会”

肝付町内の未就学児父子を対象に、休日に子ども&パパと一緒に遊ぼう会を開催しました。

講師の谷口喜代子先生とリトミック（音楽に合わせた動作）や工作などを中心に父と子のふれあい、父親同士のネットワーク支援を行いました。



参加されたお父さんの感想

- ・2人の子ともと参加しましたが、それぞれの成長を感じました。ありがとうございます。
- ・子どもと遊びで向き合う大変さと同時に大切さを感じました。
- ・家ではできない遊びで、大変楽しかったです。もっといろんな所に連れて行って遊んであげないといけないなあと思いました。

『共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）運動へのご協力方について』



10月1日～12月31日

今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。2016年は、共同募金運動第70回目の節目であり、これまでに全国の募金総額は9,306億円（平成26年まで）となっております。

第二次世界大戦後当初は、「国民たすけあい運動」として始まり、時代のニーズに合わせてその使いみちも変わってきました。現在では、「自分の町をよくする仕組み」として地域の福祉活動を支援しています。昨年度集められた募金が、鹿児島県共同募金会から配分され、町内では今年度、19の福祉団体が助成を受け活動を行っています。詳しくは、前回発行された望縁郷28号に掲載しておりますのでそちらもご覧ください。

赤い羽根共同募金は「地域福祉活動に取り組むあなたのまちづくり」を支援します

○共同募金運動に関するお問い合わせ先:肝付町共同募金委員会 事務局（社会福祉協議会内）



+ 赤十字肝付町分区からのお知らせ +

7月9日(土)岸良中学校で、非常炊き出し訓練と東日本大震災支援についての講話を、日本赤十字社の支援活動と併せて行いました。

非常炊き出し訓練は、初めての生徒さんや先生方が多くとても熱心に取り組まれました。「炊き出し専用の袋（ハイゼックス）があるとは知らなかった」、「思っていた炊き出し米とは違い、美味しかった」など皆さん興



味深々でした。

東日本大震災支援について、当時の様子から現在の話をしました。

私たちにできることは『震災を忘れない』こと。その呼びかけに対して、「正直心のどこかで忘れかけていたことを思い出させてくれた」、「岸良から1日でも早い復興を祈っています」という感想がよせられました。



28年度 サマーボランティア

肝付町ボランティアセンターでは、肝付町内外の学校に通う中学生・高校生を対象に、サマーボランティアを開催しました。11名の中高生が、施設体験コース・地域交流コース・事前・事後研修に参加しました。



■事前研修

事前研修では、自己紹介と、どの施設に体験に行くかを決め、その後、福祉体験として、高齢者の体験、車椅子の使い方の体験をしました。



施設体験コース

施設体験コースでは、肝付町内の福祉施設を訪問して、ボランティア活動を体験しました。11人で、延べ28回のボランティア活動体験をしました。





地域交流コース

地域交流コースでは、1泊2日のキャンプをおこない、地域の方と交流しました。

■1日目

川上中学校で毎週グランドゴルフをされている川上地区の清流会のみなさんと、グランドゴルフをしました。毎週、グランドゴルフをされているみなさんはさすがに上手くて、「若い力」でも全く歯が立ちませんでした。



キャンプ場にて

キャンプ場では、内之浦地区で地域おこしをされている「内之浦創星会」の皆さん、内之浦中学校の2年生の皆さんと一緒に活動し、夕食は飯盒（はんごう）炊飯、カレーを作りました。



■2日目

2日目は、川上地区片野振興会で地域の清掃活動に参加しました。朝到着すると、1日目のグランドゴルフに参加されていた方もいらして、皆さんが名前を覚えていて下さり感激しました。



■事後研修

事後研修では、体験したサマーボランティアをふりかえりました。



この事業は、肝付町内の小学生・中学生・高校生を対象に「私のふれあいボランティア活動カード」を配布し、ボランティア活動、地域行事への参加など、本人の意思で学校の活動外で行われるボランティア・地域活動への参加に対してカードにスタンプを押印するという事業で、子ども達のボランティア活動の促進と社会福祉への理解や関心を高め心豊かな地域社会づくりにつながることを目的としています。

☆スタンプは、社会福祉協議会、学校に配置し、民生委員のみなさまに配布しています。

◇お問い合わせ◇ 肝付町社会福祉協議会 68-8188（ボランティアセンター）

ペットボトルキャップ。 プルタブ収集ボランティアの報告



肝付町社会福祉協議会では、平成22年4月から、ペットボトルのキャップを収集する事業をおこなってきました。みなさんに収集していただいたペットボトルキャップは、リサイクル業者で10kgあたり10円（時価）になります。

その益金は全て「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」が「国連児童基金：ユニセフ（unicef）」に発注するワクチンの代金となります※。

平成28年8月までの間、肝付町ボランティアセンターへよせられたキャップの益金で、1370人分のポリオワクチンが提供された計算になります。（はしかなど他の病気のワクチンにも利用されています）

ペットボトルキャップ収集箱設置施設

高山小学校 国見小学校 内之浦中学校 岸良中学校 高山中学校 前田地区公民館
波野公民館 宮富地区公民館 銀河アリーナ ちゃいるどはうす デイサービスセンター国見園 肝付町役場 肝付町役場内之浦総合支所 肝付町ボランティアセンター（肝付町社会福祉協議会本所）
今後とも、本事業へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

※以前ペットボトルキャップ益金をJCVに寄付していない団体があると報道されましたが、肝付町社協はJCVに直接寄付しており、報道された団体とは全く関係がありません。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成28年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災（地震・噴火・津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(普通傷害保険)

福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、特定履行費用保険)

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
TEL:03(3593)6824

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

◎健康マージャンサロン肝付

健康づくり・仲間づくり♪

今年8月に上床正光様より肝付町社会福祉協議会にご寄付いただいた、全自動麻雀卓一式を活用してのサロン活動が始まりました。

サロン
より



この度、健康マージャンサロンを立ち上げました。

かつては、マージャンと言えば“博打”というイメージでしたが、この健康マージャンは決してそうではなくクリーンです。「飲まない（お酒）、賭けない（お金）、吸わない（タバコ）」をモットーに取り組みますので、とても健康的なスポーツで愛好者も多く、全国各地で話題となっています。

脳トレ（頭の体操）、筋トレ（指先の運動）、話トレ（お口の運動）で健康づくりをいかがですか。

とくに高齢者の健康づくり、生きがいつくり、仲間づくりをしましょう。

活動は月に2回程度（水曜日）午後1時から4時までです。

マージャンに興味のある方、全くの初心者の方には指導いたします。またご夫婦そろっていかがですか。

マージャン道具をお持ちの方、貸していただければ幸いです。

なお、健康マージャンサロンに関するお問い合わせは **090(1017)1200** 永瀬まで



★ 障がい者(児)訪問入浴サービス ★

重い障がいがあるため入浴が困難な方へ、ご自宅まで車で訪問し、室内で入浴を提供するサービスを行っています。

昨年春ごろ、ご家族より訪問入浴の問い合わせがありました。

障がいを持つ当時5歳の智尋君…。

訪問入浴サービスを利用するまでは、家族で工夫して入浴を行ってきましたが、以前は浴室までの移動中に誤って骨折させてしまうこともあったそうです。

智尋君が大きくなるにつれ、本人も家族も入浴の負担が大きくなってきました。

家族より相談を受け、肝付町と社会福祉協議会が協議し、条例などサービスを提供できる体制を整え、主治医や訪問看護との連携のもと、平成27年9月より肝付町日常生活支援事業としてスタートしました。



現在も週に2回訪問入浴サービスを提供させていただいております。

社会福祉協議会はこれからも、本人、ご家族、町民の皆さまが地域で安心して暮らしていける仕組みづくりやサービスの提供を目指してまいります。

障がい者(児)訪問入浴サービスに関する問い合わせ先：

肝付町社会福祉協議会

訪問入浴事業所：電話0994-65-3376